

India Weekly

2021年2月1日

eastspring
investments

(対象期間：2021/1/25～2021/1/29)

【株式市場】SENSEX指数の推移 (2016年1月1日～2021年1月29日)



【株式市場】

週初、リアイアンス・インダストリーズの弱い決算内容や中国国境付近での小規模な戦闘の発生が投資家心理を冷やしてインド株式市場は下落しました。その後も、米連邦公開市場委員会（FOMC）や2021/2022年度インド国家予算案発表などの重要イベントが控えていることや、首都ニューデリーで農業新法に対する抗議デモが発生したこと、新型コロナウイルスのワクチン接種の遅れなどから軟調に推移し、約1か月ぶりに昨年末の安値圏まで下落しました。

2021/1/22	2021/1/29	変化率
48,878.54	46,285.77	-5.30%

【債券市場】インド本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2021年1月29日)

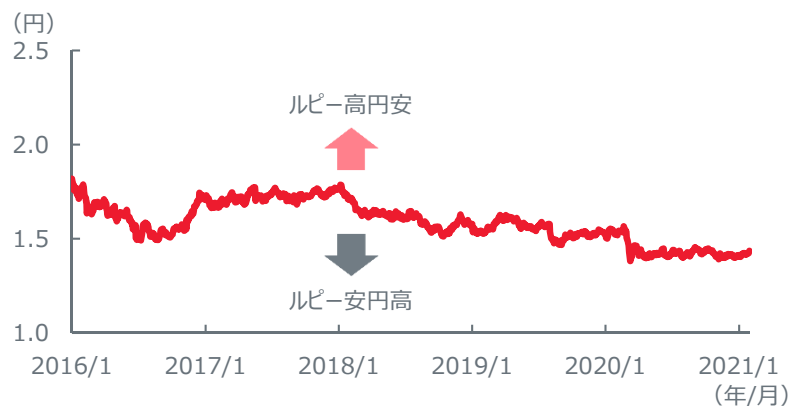


【債券市場】

週初は、市場で期待されていたインド準備銀行（中央銀行、RBI）による公開市場操作の実施について発表がなかったことを受けて、インド10年国債利回りは小幅に上昇（価格は下落）しました。その後は、2月1日に発表される2021/2022年度インド国家予算案発表を見据えて積極的な売買が手控えられ、週間としてはほぼ変わらずとなりました。

2021/1/22	2021/1/29	変化幅
5.906	5.906	+0.000

【為替市場】インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日～2021年1月29日)



【為替市場】

週初は、米バイデン新政権による景気刺激策導入への期待などを背景に上昇しました。27日以降は、国際通貨基金（IMF）がインドの2021年実質GDP成長率を従来の+8.8%から+11.5%に上方修正したことなどがルピー買い圧力となった一方、インド株式市場の下落や米国の追加経済対策の規模縮小観測などがルピー売り圧力となるなど一進一退となり、対米ドルではほぼ横ばいとなりました。対円では、円安米ドル高の影響によりルピー高円安となりました。

2021/1/22	2021/1/29	変化率
1.421	1.436	+1.02%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルグループ

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシユアランス社とは関係がありません。

210201 (02)